

□議員名：矢田松夫

1 JR美祿線・小野田線の利活用について

論点	市民の声をJRに強く要請するべきではないか。
回答	現在、市独自の利用者協議会委員の意見をランク付け作業しており、すぐに取組む促進案については随時取組んで行く。ダイヤ改善や施設整備などJRに積極的に要請し働き掛けて行く。

論点	市の利用者協議会は会計も無く、意見を聴くだけのサロンの会になっていないか。
回答	今後利用促進案が具体化される時に、JRへの要望行動、市民の利活用のための費用など予算要求をしていきたい。サロンのにならないよう一定の成果を出すべき策を詰め、小野田線が市民の足となるよう情報発信をしていく。

論点	市民の利便性を考えたJR小野田線駅舎を、再考してみないか。
回答	駅舎の移転、新築は、JRに負担をかけるので、要望する考えはない。

2 厚狭地区の公共施設の再編について

論点	再編後の老朽化施設等の処分構想はあるのか。
回答	合併特例債活用事業は終期に来ており、公共施設整備を先に着手するので、現行施設の跡地利用等の協議を同時進行する計画はない。不用になった土地は処分、売却をする。

論点	JR厚狭駅周辺と公共施設の再編は、厚狭地区の新しい街づくりの一環であり、専門家による講座開催の今後の予定は。
回答	どのような街を期待しているのか、どのいう街づくりをしたいのか、それが出れば側面から支援していくが、地元からの意見が出ない実情もあり、3回目の開催をためらっている。

論点	山陽勤労青少年ホームについては、総合事務所敷地への再編計画は無いと言う事でいいか。
回答	ホームについては、国・県は1市1施設の方針はあるものの、廃止は考えていない。建物の修繕をしながら、現在の敷地で機能を残していく。

論点	山陽勤労青少年ホームの利用者協議会はすでに解散しているが、今後、新施設で利用を希望された時はどうするのか。
回答	山陽勤労青少年ホームの建物の経過措置、経過観察をしながら利用者の方とも協議を重ねていく。

論点	複合施設再編にあたり、地域住民との合意形成をどのように図っていくのか。
回答	説明会で、現在の山陽総合事務所の敷地に総合事務所、公民館、図書館、コミュニティ体育館、保健センターの複合施設を整備する素案について、概ね賛同をされた感触を得ている。

論点	厚狭図書館、厚狭公民館、山陽勤労青少年ホーム利用者協議会の声を聞きながら再編計画をすすめよ。
回答	地域の方々の意見を幅広く聞き、基本設計の中で、建物のレイアウト、部屋の機能等、詳細を策定していきたい。

論点	現在の厚狭図書館の床面積と貸し館併用ではない「本当」の図書館機能は確保されるのか。
回答	現在の機能が低下する事があってはならないし、現在の機能は確保していく。

論点	再編後には、機能強化を図るため農業関係業務を総合事務所へ編入すべきではないか。
回答	農林水産課そのものを移転することを検討してきたが、仕事の効率化、市民サービスを含め全関係職員に意見を聞いた。本庁に残し

	<p>て欲しいと全員の意見もあり、移転問題については本庁に置くことで一応ピリオドは打たれた。</p>
--	--